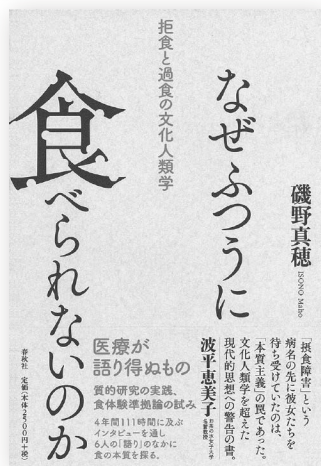




なぜふつうに食べられないのか

拒食と過食の文化人類学

磯野真穂＝著

本体 2,500 円＋税／四六判・312 頁／春秋社／2015

本稿ご執筆の磯野先生による質的研究の実践、食体験準拠論の試み。4年間111時間に及ぶインタビューを通し、6人の「語り」のなかに食の本質を探った。

思春期の女性はなぜ痩せたがるのか？ 現代における「食」の本質や、医療の視点では捉えきれない摂食障害の内実解明に迫る。『ダイエット幻想—やせること、愛されること』（筑摩書房、2019）も併せて読みたい。